

インフラ整備70年 講演会(第64回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

那覇空港 及び ゆいレールの整備と役割

～沖縄経済の発展を支える交通インフラと今後の展望～

＜講演内容＞

沖縄の社会資本整備が果たした役割

那覇空港の整備と果たした役割

ゆいレール整備の歩みと現状

沖縄本島中南部地域の都市交通の課題と展望

沖縄の持続的成長を支えるゲートウェイへの期待

＜講演者＞

逢坂 謙志 内閣府沖縄総合事務局 次長（開発建設）

池田 龍彦 横浜国立大学名誉教授、元沖縄総合事務局開発建設部長

前川 智宏 沖縄都市モノレール株式会社 常務取締役

榎原 正人 株式会社トーニチコンサルタント 主任

金城 克也 GW2050 PROJECTS 推進協議会 代表理事、沖縄県経済団体会議 議長

（司会）坂 克人 元内閣府沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所長



2025年 11月27日 (木)

写真提供：那覇港湾・空港整備事務所(上)
沖縄都市モノレール(株)(下)

講 演 会 : 15:00～17:00 沖縄県立博物館・美術館（講堂ホール）
(会場・WEBのハイブリット形式)

意見交換会: 17:30～18:30 ダイワロイネットホテルおもろまち18階

定 員 : 講演会(会場 200名・WEB 1000名)、意見交換会 50名

主 催 : (一社)建設コンサルタント協会 後援: (公社)土木学会

沖縄復帰以来既に50数年が経過するが、その後のインフラ整備が沖縄経済・社会の発展に果たした役割は大きい。米軍からの返還により国管理空港となった那覇空港では、滑走路延長、旅客ターミナルの整備・拡張、第二滑走路の整備を経て、現在も県内外、海外からの利用客にあふれ沖縄県の玄関としての役割を果たしている。一方、沖縄都市モノレール（愛称 ゆいレール）は、那覇都市圏の慢性的渋滞の緩和のため、2003年に那覇空港駅～首里駅間で開業、その後、てだこ浦西駅まで延伸されている。現在では、周辺住民のみならず国内外からの旅行客を運ぶ沖縄唯一の軌道系交通機関として重要な役割を果たしている。今回の講演会では、那覇空港及び沖縄都市モノレールに焦点をあて、これらの交通インフラの整備による沖縄経済・社会の発展に果たした役割を振り返るとともに、沖縄のさらなる成長に向けた展望について紹介する。。

インフラ整備70年講演会(第64回)
那覇空港 及び ゆいレールの整備と役割
～沖縄経済の発展を支える交通インフラと今後の展望～

《講演者》

逢坂 謙志	内閣府沖縄総合事務局 次長（開発建設）
池田 龍彦	横浜国立大学名誉教授、元沖縄総合事務局開発建設部長
前川 智宏	沖縄都市モノレール株式会社 常務取締役
榎原 正人	株式会社トーニチコンサルタント 主任
金城 克也	GW2050 PROJECTS 推進協議会 代表理事（沖縄県経済団体会議 議長）
(司会)坂克人	元内閣府沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所長

講演会 申し込み方法（変更がありますのでご注意ください）

- 会場（講演会無料・意見交換会3000円）、WEB（講演会無料）どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP（<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>）よりお願いします。

【注意事項】

- お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- 申込時の個人情報はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等はご遠慮頂きますようお願いします。

<会場参加について>

- 申込完了者は、**11/17(月)までに**下記口座へ会費振込をお願いします。なお、領収書は講演会当日にお渡しさせて頂きます（振込が期日より遅れますと後日郵送となります）。

三井住友銀行 飯田橋支店(888) 普通口座 7379944

イッパンシャダソホウジンケンセツコンサルタントキヨウカイコウシュウカイヨウゲチカイヨウナカムラテツミ

（複数名分の振込を行う場合、対象者名の一覧を下記の問合わせ先メールにご連絡お願いします）

<WEB配信について>

- 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させて頂きます。
- 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください（複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います）

問合せ先 E-mail : infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるといって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聞く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタント協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、（一社）建設コンサルタント協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとしました。

*建設コンサルタント協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第65回講演会 2025年12月16日(火) 政策研究大学院大学想海樓ホール

テーマ：つくばエクスプレスと筑波研究学園都市～まちと鉄道が歩んだ成長の軌跡～（仮）

講演者：高松 正伸 (一財)交通統計研究所 顧問 公益本部長／元 日本鉄道建設公団 工務部 工務次長

西村 志郎 (株)URリンクエージェンシー・フェロー／元(独)UR都市機構 理事、つくば開発局

堀口 知巳 (独)鉄道・運輸機構 理事／元 日本鉄道建設公団 工務部 常磐新線課

森地 茂 政策研究大学院大学 名誉教授

*会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です